

忘れられないあの日

柏崎市立高柳中学校 一年 石塚育子

あの地震を忘れかけていたころ、地震はお

こた。

ドッカイニレ

六月二十日、給食を食べているときだった。

机の下にかくれて

先生が叫んだ。みんな、悲鳴をあげている。

私は、この時思い出した。忘れなくても忘れ

られない新潟県中越大地震を。

ドッカイニ！グラグラ

この時、私とお母さんはテレビを見ていた。

今までに地震は何回も経験してきたが、こん

な大きい地震は初めてだった。私は、知らぬ

間にお母さんに抱きついていった。私たちは、

何をすればいいか分からず、地震が終おるの

を待った。待っているとき、玄関で何かが割

れる音がした。私は、もう恐怖感でいっぱい

だった。でもそのとき、

大丈夫、家は壊れないから

お父さんが言ってくれた一言で私は気持ちがお
楽になつた。気がつくと、地震は終つて
いた。電気が消え、あたりはま、暗だつた。
「余震がくるかもしれないから外へ出よう」
誰が言つたかは知らないが、急いで外へ出た。
近所の人たちも外へ出ていた。
「震源地は、高柳かもしれない」
「テロがおきたんじゃないの」
みんなパニック状態だつた。
「とりあえず、駐車場へ行こう」
近所のおじさんが言い、私たちは急いで駐
車場へ行つた。そこでみんなで寄りよつて、近
所の人を持つてきたおせんべいを食べた。そ
の時、私は見た。地面にひびが入っているの
を、一瞬のうちに何もかもがめちゃくちゃ
になつた。多くの人が七くなり、建物など
が被害を受けた新潟県中越地震。私には、志
れなくとも忘れられない物になつてしまつた。